

社会科標準問題

令和3年度

注意

1. 問題は1から10までであるが、そのうち5題を解答すること。どの5題を解答するかは学校の指示に従うこと。
2. 解答はすべて解答用紙の所定の欄に指示通り記入すること。
3. 所要時間は50分とする。
4. 解答用紙の選択した（または指定された）問題番号の□に○を記入すること。

1 次の文章と画像や地図に関して、下の設問に答えよ。

アレクサンドリアは、(a)アレクサンドロスが紀元前 332 年に(b)エジプトを征服した際に建設を命じた兵士のための新都市である。彼の死後、都市建設にあたったのは(c)プトレマイオス 1 世だった。こうして古代エジプト史で最後の、ギリシア人による王朝の新たな都が建設され、エジプトの都はナイル河畔のメンフィスからアレクサンドリアに移された。

アレクサンドリアには港も建設された。アレクサンドリアの地は沖合のファロス島の島影を利用して港の建設が可能であった。ファロス島まで 1260m の堤防を伸ばし、その両側を港とした。今ではこの堤防の両脇は砂が溜まり、ファロス島が陸続きの半島になっているが、両側に設けられた港湾は、現在に至るまでエジプトの中核港として機能し続けている。

(d)アレクサンドリアをヘレニズム文化の中心都市に押し上げたのは、大図書館の存在だろう。プトレマイオス 1 世はオリエントに関するさまざまな言語で書かれた本を収集し、一つの屋根の下に収めることをもくろんだ。この頃アレクサンドリアに到着する旅人は、持ち物の書物を供出させられ、大図書館ではその写本を作っては本人に渡していたという。大図書館はヘレニズム文化の粋を集め、蔵書数は 53 万巻とも 70 万巻とも言われ、当時世界で最高水準を誇っていた。

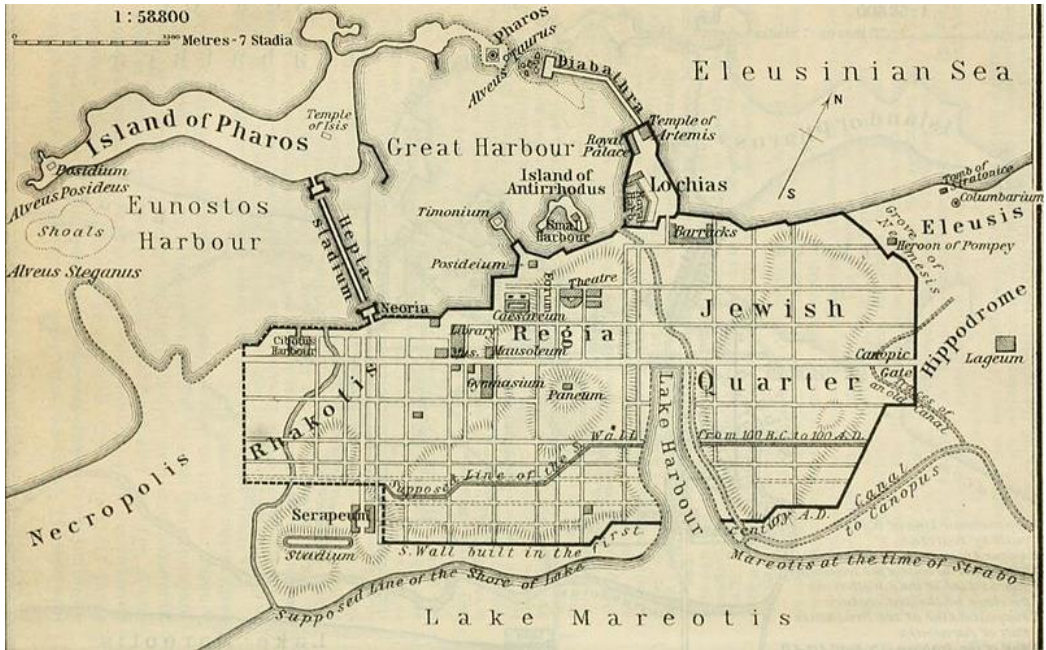
(e)ローマはアレクサンドリアを大きく変えた。長さ 5 km、幅 30m の凱旋用の大通りが作られ、それに平行・直交する副幹線道路の幅は 15m で、格子状の街路が建設された。幹線道路沿いの窪地を利用して円形劇場が、隣接する土地には公衆浴場も造られた。また(f)市街地を取り囲むように延長 15km におよぶ市壁が建設された。紀元前 60 年頃にアレクサンドリアを訪れたギリシアの歴史家ディオドロスは、アレクサンドリアが世界最大の都市であり、それに続くのはローマであると述べている。ローマの人口を 90 万人とも記しているから、この頃のアレクサンドリアは、人口が 100 万人に届くほどの巨大都市であったと推測される。7 世紀以降、ギリシャ・ローマの街並みは目抜き通りとなる道路の道幅を狭くして、網の目のように路地を張り巡らせたイスラム都市に変貌していった。

(山田耕治「ヘレニズム文化を支えた世界初の百万都市アレクサンドリア」『Consultant』245 号、一般社団法人建設コンサルタンツ協会、2009 年)

A



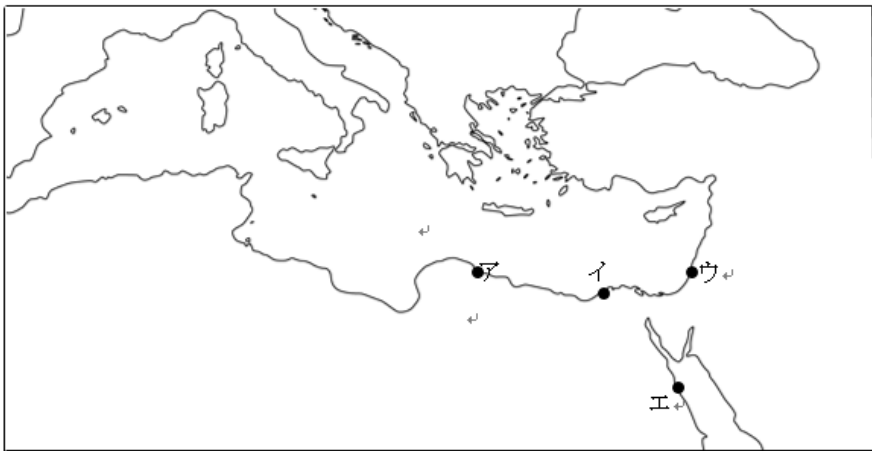
B



1世紀ごろのアレクサンドリア

(文中に登場するファロス島が地図の左上に、円形劇場=Theatreが中央部分にみられる)

問1 アレクサンドリアの位置を下の地図上のア～エから選び、①～④の番号で答えよ。



- ① ア ② イ ③ ウ ④ エ

問2 Aのモザイクは、下線部(a)の人物が東方遠征に際して、相手国の君主と相まみえた戦場の様子を描いている。相手国と君主の名前の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選んで答えよ。

- ① アッシリア - ダレイオス1世 ② アケメネス朝ペルシア - ダレイオス1世
 ③ アッシリア - ダレイオス3世 ④ アケメネス朝ペルシア - ダレイオス3世

問3 下線部(b)について、「ナイルのたまもの」と記述した古代ギリシアの歴史家とその著作の主題となった出来事の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選んで答えよ。

- ① トウキディデス - ペルシア戦争 ② ヘロドトス - ペルシア戦争
③ トウキディデス - ペロポネソス戦争 ④ ヘロドトス - ペロポネソス戦争

問4 下線部(c)はアレクサンドロス配下の部将であったが、アレクサンドロスの死後、後継者の地位をめぐる戦いエジプトの支配権を確立した。この一連の戦いの名称と、イラン高原からシリアにいたる広大な地域を支配した人物の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選んで答えよ。

- ① ディアドコイ戦争 - アンティゴノス1世
② マケドニア戦争 - アンティゴノス1世
③ ディアドコイ戦争 - セレウコス1世
④ マケドニア戦争 - セレウコス1世

問5 下線部(d)の図書館長をつとめ、ヘレニズム文化を代表する学者であったエラトステネスの主な業績を、次の①～④から1つ選んで答えよ。

- ① 天体の観測に基づいて、地動説をとらえた。
② 太陽光線が当たる角度から、地球の全周を算出した。
③ 浮体の原理の発見により、体積の算出法を考案した。
④ 従来の平面幾何学を集大成させた。

問6 ヘレニズム文化を代表する彫刻作品の一つで、世界的スポーツ用品メーカーの社名の由来にもなっている「サモトラケのニケ」はどれか。次の①～④から選んで答えよ。

①



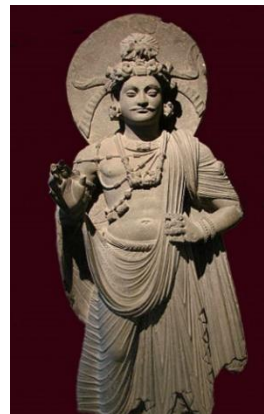
②



③



④



問7 下線部(e)に関わって、ローマの政治家とエジプト最後の女王クレオパトラとの関係について述べた文X・Yの正誤の組み合わせを、次の①～④から選び、記号で答えよ。

X クレオパトラはカエサルと蜜月関係を築き、エジプトの独立を保った。

Y ポンペイウスはクレオパトラと同盟を結び、オクタウィアヌスと戦って敗れた。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問8 下線部(e)に関わって、アレクサンドリアが果たした役割について述べた文X・Yの正誤の組み合わせを、次の①～④から選び、記号で答えよ。

X 属州となった肥沃な後背地域からローマに運ばれる、大量の穀物の積出港となった。

Y 紅海・インド洋と地中海をつなぐ季節風貿易の中継地点となり、絹や香辛料をローマにもたらした。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問9 下線部(f)に関して、Bの地図ではユダヤ人街（Jewish Quarter）の表記が見られ、古くから彼らが地中海世界の交易に関わっていたことが推測できる。古代ユダヤ人（ヘブライ人）に関する次の説明①～④のうち、適切でないものを1つ選んで答えよ。

① ダヴィデ王がカナーン（パレスチナ）に統一国家を建国した。

② イェルサレムに大神殿が建立され唯一神ヤハウェを信仰する宗教が発展した。

③ パルティアに都を占領され、多くの人々がバビロンに連行された。

④ ローマ帝国への反乱が鎮圧され、人々は帝国領内各地に離散した。

問10 Bの地図の左下の部分に記されている「Necropolis」とは墓地を意味する。ローマ帝国初期の墓地に関連して述べた文X・Yの正誤を判断し、その組み合わせとして正しいものを、次の①～④から選んで答えよ。

X しばしば洞窟や地下に墓地がつくられ、パンテオンとよばれた。

Y キリスト教徒が迫害を逃れるため、地下の墓地に集まって礼拝を行った。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

2 次の〔史料A〕～〔史料C〕を読み、下の設問に答えよ。

〔史料A〕 皇帝ハインリヒ 5 世の文書

神聖にして不可分の X の御名において、余、神の恩寵によりローマ人の高貴なる皇帝ハインリヒ (5 世) は、神と聖なるローマ教会と(a)教皇カリクストゥス様への愛と余の魂の救いのために、神と神の聖なる使徒ペテロとパウロと聖なるカトリック教会に対して、指輪と杖によるすべての叙任を放棄する。そして余の王国、あるいは帝国にあるすべての教会において、教会法にしたがった選出と自由な叙階が行われることを認める。

余の父 (ハインリヒ 4 世) の治世であれ、余の治世であれ、この争いの始まりより今日にいたるまでの間に奪われた、聖ペテロに属する財産やレガリア (俗権) については、余が有しているものは聖なる教会に対して補償し、余が有していないものは、誠実に補償されるよう意を尽くす。

問 1 文中の X に適するローマ=カトリック教会の根本的な教義を示す言葉を答えなさい。

問 2 下線部(a)について、この教皇の時代は下の①～④のどの時期にあたると思われるか。

レオ 3 世がフランク王カールにローマ皇帝の冠を授けた。

↓①

ウルバヌス 2 世がクレルモン宗教会議で十字軍を提唱した。

↓②

インノケンティウス 3 世が第 4 回十字軍を提唱した。

↓③

ボニファティウス 8 世がフランス王フィリップ 4 世により捕らえられた。

↓④

コンスタンツ公会議が開かれ、教会大分裂 (大シスマ) が解消された。

問 3 この史料中で取り決められた内容と、その取り決めの名称の正しい組み合わせを、次の①～④から選び、記号で答えなさい。

- ① 内容：皇帝は帝国内の聖職者の叙任権を放棄する。
名称：金印勅書
- ② 内容：皇帝は帝国内の聖職者の叙任権を放棄する。
名称：ヴォルムス協約
- ③ 内容：皇帝は教会法にしたがって選帝侯によって選出される。
名称：金印勅書
- ④ 内容：皇帝は教会法にしたがって選帝侯によって選出される。
名称：ヴォルムス協約

〔史料B〕 グラナダの降伏協定

われらが主君、いと高く、いと強大にして、いと聡明なる(b)国王と女王の命によって、(c)グラナダ王ムレイ=ボアブディルの代理たる城代アブルカシン=エル=ムレーとのあいだで取り決められ合

意された事柄・・・。

第一に次のことが取り決められ合意された。上述のグラナダ王、そしてグラナダ市と坂町および郊外区の城代、法博士、法官、警吏、・・・、大人であれ子供であれ、すべての者は、この文書と協定が成立する 11 月 25 日から 65 日以内に、実務的かつ有効なやり方で、国王陛下ないし国王陛下の命じた者に対して、とアルヒザンの城塞、同場所の城門と塔、同市と坂町および郊外区の市門、これらの市門の塔、そして同市域のその他の勢力拠点を明け渡さねばならず、かつ明け渡すこと・・・(後略)

問 4 下線部(b)について述べた次の①～④のうち、正しいものを 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① この二人はレオン国王とカスティリヤ女王である。
- ② この二人の結婚によりポルトガル王国が成立した。
- ③ この二人が国王の時代にカルマル同盟が結ばれた。
- ④ この女王は、コロンブスの航海を援助した。

問 5 下線部(c)の王が支配する王朝の名称と、文中のに入る建築物の名称の組み合わせとして適するものを次の①～④から 1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① (c)ファーティマ朝 アルハンブラ宮殿
- ② (c)ファーティマ朝 アズハル=モスク
- ③ (c)ナスル朝 アルハンブラ宮殿
- ④ (c)ナスル朝 アズハル=モスク

問 6 この史料に述べられた内容と同じ世紀の出来事でないのは次の①～④のどれか。1 つ選び、記号で答えなさい。

- ① ポルトガル王国のエンリケ航海王子がセウタを攻略した。
- ② ノルマン人が南ロシアにキエフ公国を建国した。
- ③ イングランドでバラ戦争がおこった。
- ④ オスマン帝国がコンスタンティノープルを征服した。

[史料C] プロコピオス『ゴート戦記』

ゴート人の特使らはこう言った。「あなた方ローマ人は、あなた方の友でもあり同盟者でもあった我々に対して宣戦を布告し、不当にも混乱に陥れた。私が言っていることは、あなた方の誰もご承知のはずだ。あなた方は、ゴート人がイタリアの主となったとき、ローマ人に何の暴力も振るわず、何らの略奪をも為さなかったことを知らぬわけではないからだ。かつて皇帝を退位させ、イタリアの地を暴君の手に委ねたのはオドアケルだ。当時東方を統治していた(d)ゼノン帝は、この不正に報復し、イタリアを解放しようとした。しかしゼノンは、オドアケルの勢力を打ち崩すことができずに、ビザンツ攻囲を準備していたわれらが王テオドリックにパトリキオスの爵位を与え、われらが王をコンスルに任じて、帝国内でわが王が得ていた榮譽の数々を決して忘れるべからずと説得した。そればかりではない。ゼノンは、われらが王に、オドアケルがアウグストゥルス(注1)に対して為した不正に報復するように仕向けることに成功し、われらが王とゴート族にこれらの諸属州の合法的で正当なる所有権を恒久的に譲渡したのである。...中略...。それなのに、今あなた方は正当にこの地を得た我らに暴力を振るっている。あなた方はここではもはや権利はないのに、である。・・・」

ベリサリオス(注2)はこう応えた。「あなたの約束では、短く程々に話されるとのことだった。しかし、あなたの話は長く、また主張にごまかしがある。ゼノン帝がテオドリックを派遣されたのは、オドアケルを打倒してイタリアを解放するためであって、かの地をテオドリック自身の領土とするためではなかった。ある専制者を他の専制者で置き換えて、皇帝にどんな利益があっただろう？ゼノン帝がテオドリックを派遣したのは、イタリアが解放され、皇帝の権威のもとに復帰させるためだったのだ。ところが、テオドリックはその勝利を悪用し、この地を自身の正当なる主人に戻すことをしなかったのだ。他人の財産を手にしたたり、それをその者に返さないのは、犯罪に等しい行為である。・・・」

(e)バルバロイは言った。「われらが申したことはすべて、あなた方の誰一人として知らぬ者はいない事実だ。しかし、われらが争いを好むと思われぬように、あなた方に対してシチリアを放棄しよう。かの地は(カンパニアと)同じくらいの大きさで同じように富んでいる。その地がなければ、あなた方はリビアを安定して保持することができないだろうから。」

(注1) 西ローマ帝国最後の皇帝ロムルス=アウグストゥルスのこと。

(注2) ゴート人に対してイタリアへ派遣されている将軍。

問7 下線部(d)について、この人物はどこの国の皇帝か。次の①～④から選びなさい。

- ① 東ローマ ② 西ローマ ③ フランク ④ 神聖ローマ

問8 下線部(e)について、この史料の文脈の中でのバルバロイの説明として不適当なものはどれか。次の①～④から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 古代ギリシア人からみた異民族をさしている。
② 東ゴートの特使のことをさしている。
③ この史料の書き手は、話し手を蛮族とみなしていたと考えられる。
④ ローマ人のゲルマン人に対する敵対的な態度を含んでいる。

問9 この史料中のやりとりが行われた時代は、次の①～④のどれだと推測されるか。1つ選び、記号で答えなさい。

- ① 西ゴート人がイタリアに進出したとき。
② 東ゴート人がイタリアに進出したとき。
③ 西ローマが滅亡したとき。
④ 東ローマがイタリアに進出したとき。

問10 [史料A]～[史料C]で扱われている時代を古い順にならべたものを次の①～⑥から1つ選び、記号で答えなさい。

- ① [史料A] → [史料B] → [史料C]
② [史料A] → [史料C] → [史料B]
③ [史料B] → [史料A] → [史料C]
④ [史料B] → [史料C] → [史料A]
⑤ [史料C] → [史料A] → [史料B]
⑥ [史料C] → [史料B] → [史料A]

3 次の文章は、アメリカ大陸原産のカカオがヨーロッパ諸国に伝わり、広まっていった過程について述べたものである。これを読んで、下の設問に答えよ。

ヨーロッパ人がココアやチョコレートの原料となるカカオと初めて出会ったのは、(a)コロンブスが最後の航海において、カヌーで交易する(b)マヤ族の人々と遭遇したときであったとされている。その後、カカオを加工して飲む習慣は、まずスペインに伝わり、そこからヨーロッパ諸国に広まっていった。

スペインの宮廷には、(c)カルロス1世の時代にすでに、コルテスからカカオについての報告が届いていた。しかし、カカオをスペインに初めて持ち込んだのがコルテスなのかは定かではない。彼の幾度かの航海で持ち帰られた品々の目録には、画家の(d)デューラーを感嘆させたという金銀製品のことから、当時ヨーロッパでは珍しかった動物たちのことまで記録されているが、カカオについての記述はない。ただ、何者かによっていつの間にかスペインに持ち込まれたカカオは、ときに薬として、ときに貴族の権力の象徴として、そしてときに(e)イエズス会をはじめとするカトリック修道会の資金源として、確実に受容されていった。

フランスにおいて、17世紀におけるカカオの消費者は主に貴族と聖職者であった。初期は薬としての使用が中心で、1643年にパリの医師が出版した本には、リヨンの枢機卿(f)アルフォンソ=ド=リシュリューに、ココアを処方したことが記されている。高価であったカカオは長らく貴族の嗜好品だったが、17世紀の末になると、市民層にもその味が広がっていった。

17世紀前半に事実上の独立を果たし、中継貿易で世界的な経済大国となった(g)オランダでは、(h)18世紀にオランダ本国に入荷するカカオの量が増加し、市民層がココアの味を覚えたことによってココアの需要が増加した。それに応えたのがヴァン=ホーテンをはじめとした業者たちであった。彼らはココアをより飲みやすくするために工夫を凝らし、近代的工場を設立した。

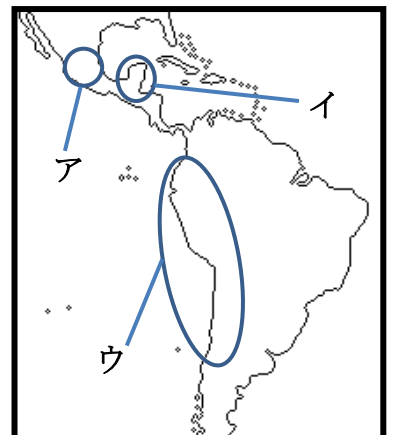
ココアが到達した1650年代のイギリスは(i)政治的大変動に揺れていた。それが落ち着いた頃、コーヒーハウスが隆盛する。コーヒーはもちろん、茶、タバコ、そしてココアなどの新来の物産が提供されるコーヒーハウスは、(j)世界各地の植民地を拠点に交易を拡大させたイギリスの経済力が感じ取れる場所であった。

問1 下線部(a)について、この人物と同じく大航海時代に活躍した航海者について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① バルトロメウ=ディアスは、アフリカ南端を回ってインドに到達する航路を開拓した。
- ② マゼランはヨーロッパ人として初めてパナマ地峡を越え、太平洋を航海した。
- ③ カブラルはブラジル東端に到達し、その地をポルトガル領とした。
- ④ ヴァスコ=ダ=ガマは、ヨーロッパ人として初めてアフリカ南端の喜望峰に到達した。

問2 下線部(b)について、この民族が形成した文明の所在地の右地図中における位置ア～ウと、その文明についての説明X～Zの正しい組合せを、次の①～⑨から1つ選べ。

- X 文字を持たず、キープを用いて記録を行った。
 - Y 天文学が発達し、非常に精確な暦が作られた。
 - Z 都をテノチティトランにおき、神権政治を行った。
- ① アーX ② アーY ③ アーZ
 - ④ イーX ⑤ イーY ⑥ イーZ
 - ⑦ ウーX ⑧ ウーY ⑨ ウーZ



問3 下線部(c)の人物について述べた文X～Zの正誤の組合せとして正しいものを、次の①～⑧から1つ選べ。

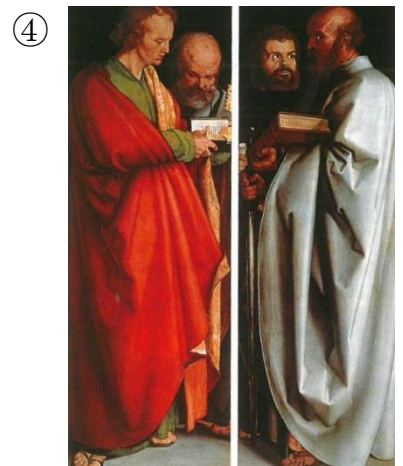
X レバントの海戦でオスマン帝国を破り、カトリックの盟主の地位を獲得した。

Y ポルトガルとの間でトルデシヤス条約を締結し、互いの支配領域を画定した。

Z 神聖ローマ皇帝位やイタリア支配をめぐる、フランスとの間で抗争を繰り返した。

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
X	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
Y	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
Z	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

問4 下線部(d)について、この人物が描いた作品を次の①～④から1つ選べ。



問5 下線部(e)に関して、宗教改革および対抗宗教改革について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

① カルヴァンは、『九十五カ条の論題』を発表し、宗教改革の口火を切った。

② メアリ1世による修道院の解散は、ジェントリの勢力拡大の一因となった。

③ ルターは、トマス=ミュンツァー率いるドイツ農民戦争に積極的に協力した。

④ トリエント公会議では、カトリック教会の基本的な指針が示された。

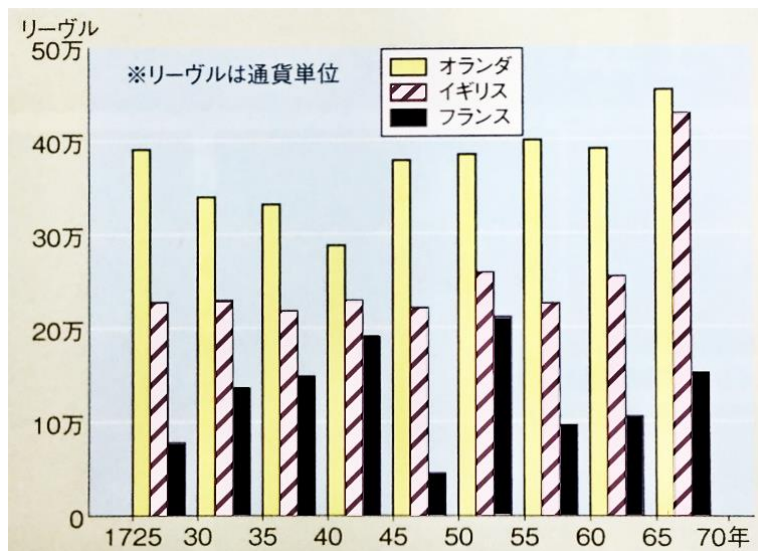
問6 下線部(f)について、この人物は1624年～1642年にフランスの宰相をつとめたリシュリューの兄である。宰相リシュリューが仕えたフランス国王について述べた文として正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 三十年戦争にはプロテスタント側で参戦した。
- ② 即位後カトリックに改宗し、ユグノー戦争を終結させた。
- ③ 王権の強化に抵抗する貴族たちが起こしたフロンドの乱を鎮圧した。
- ④ 国家財政の危機的状況に対応するため、テュルゴーやネッケルを登用した。

問7 下線部(g)の国に関する次のA～Cの出来事を古いものから並べたとき、順番として正しいものを下記の①～⑥から1つ選べ。

- A ウェストファリア条約で正式に独立が承認された。
 - B イギリスの航海法制定が一因となって、イギリス＝オランダ戦争が勃発した。
 - C アンボイナ島において、オランダ勢力がイギリス勢力を駆逐した。
- ① A → B → C ② A → C → B ③ B → A → C
 - ④ B → C → A ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問8 下線部(h)に関して、次のグラフは18世紀におけるイギリス・オランダ・フランスの東インド会社のヨーロッパにおける全体の販売額を示したものである。17世紀に経済大国となったオランダは、18世紀においても覇権を維持した。それに対抗した当時のイギリス・フランスについて述べた文X、Yの正誤の組合せとして正しいものを、次の①～④から1つ選べ。



『新詳 世界史B』帝国書院，2021，p.181より作成

X 1755年以降のイギリスの販売額上昇の一因として、インド産の綿織物や中国産の茶の交易が挙げられる。

Y 1745年前後にフランスの販売額が低下したのは、ナントの王令発布の影響である。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問9 下線部(i)について、下の図はこの大変動の際に実権を握った、ある人物を描いた風刺画である。以下はこの風刺画についての先生と生徒の会話である。空欄に入る語句の組み合わせとして正しいものを、次の①～④から1つ選べ。

生徒：この人物が政治の主導権を握った際、イギリスでは王政を廃して、共和政が樹立されましたよね。なぜ、彼は王冠をかぶって王のように描かれているのですか？

先生：それは彼が（あ）からですね。この風刺画が描かれたオランダからは、彼のあり方は国王と大差ないと評されたのでしょうか。

生徒：彼の後ろで、処刑が執り行われているのですが、この処刑されている人物は（い）ですか？

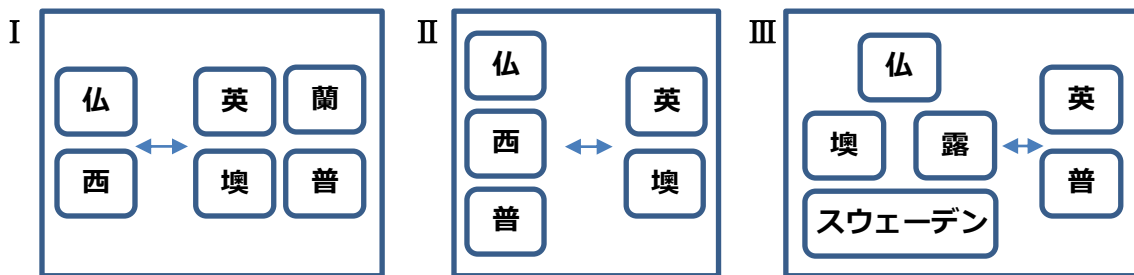
先生：その通りです。国王を処刑して共和政を樹立したにもかかわらず、その後実権を握ったこの人物は国王のような力を行使している、と揶揄されているわけです。

生徒：なるほど。風刺画1枚から、いろいろなことを読み取ることができるんですね。



- | | |
|--------------------------|-----------|
| ① あー審査法を制定し、公職に就ける者を制限した | いージェームズ1世 |
| ② あー審査法を制定し、公職に就ける者を制限した | いーチャールズ1世 |
| ③ あー終身の護国卿に就任し、軍事独裁を行った | いージェームズ1世 |
| ④ あー終身の護国卿に就任し、軍事独裁を行った | いーチャールズ1世 |

問10 下線部(j)について、イギリスは植民地と商業の主導権をめぐって、フランスとの間で1689年から1世紀以上におよぶ断続的な戦争状態となった。その後半に勃発した七年戦争に関連する各国間の対立関係を簡潔に示した図Ⅰ～Ⅲと、七年戦争について述べたX、Yのうちの正しい文との組合せを、次の①～⑥から1つ選べ。



英…イギリス 仏…フランス 西…スペイン 蘭…オランダ
 奥…オーストリア 普…プロイセン 露…ロシア

X この戦争と同時期に、北米大陸ではウィリアム王戦争が展開された。

Y この戦争の講和条約で、イギリスはミシシッピ川以東のルイジアナを獲得した。

- ① I-X ② I-Y ③ II-X ④ II-Y ⑤ III-X ⑥ III-Y

4 次の文章A～Dを読み、設問に答えよ。

A 1776年5月、ヴァージニア植民地協議会は、その代表に大陸会議では13植民地の独立を提案すべきであるとする訓令をだした。独立宣言書の起草委員として選ばれたのは、(あ)ら5名であった。原案を作成したのは、主に(あ)であった。(あ)は晩年、「アメリカ独立宣言」の原案を起草するにあたり、「独立の問題についてのコモン=センスをできるだけわかりやすく人々に示す」ことを心がけたと述べている。いいかえれば、彼は「それまで考えられたことのないような新しい原理」ではなく、「政治についての基本的書物に表現されていた、当時の一致した意見」に基づいて原案を起草した。

(紀平英作編『アメリカ史』山川出版社、1999年、pp.76-77、一部改変)

問1 文中の(あ)に当てはまる人物は、独立宣言への署名を描いた以下の絵画にも登場している。(あ)に当てはまる人名と、アメリカ合衆国の独立が認められた条約について、正しい組み合わせを以下の選択肢から選べ。

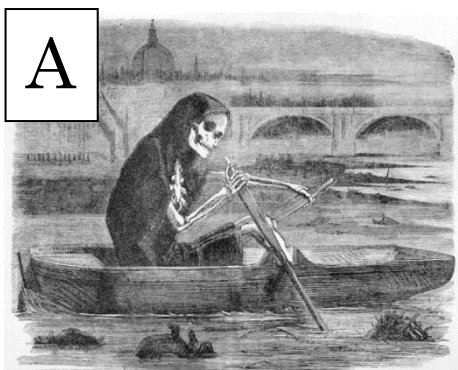


- | | |
|------------------|-------------|
| ① あ — トマス=ペイン | 条約 — パリ条約 |
| ② あ — トマス=ペイン | 条約 — ベルリン条約 |
| ③ あ — トマス=ジェファソン | 条約 — パリ条約 |
| ④ あ — トマス=ジェファソン | 条約 — ベルリン条約 |

B 「産業革命」という用語がイギリス人のあいだに定着していくのは、1884年にアーノルド=トインビーの、有名なオクスフォード講義録のなかで用いられたときからであった。トインビーの「産業革命」概念は、エンゲルスの理解と多くのものを共有する。トインビーは、対外競争と社会不安によって特徴づけられる1880年代から1920年代にかけて活躍したウェッブ夫妻やハモンド夫妻などの社会改良家たちの一人であり、自由放任の原理(レッセ=フェール)に集中的な攻撃を加え、政府が人道的な観点から経済に介入すべきであると唱えたのであった。

(長谷川貴彦『産業革命』世界史リブレット116山川出版社、2012年、pp.10-11)

問2 以下の絵画のうち、イギリスの産業革命と最も関わりの深いものを1つ選べ。



問3 産業革命以前の古い製鉄所の多くは山間部につくられた。その理由を簡潔に述べよ。

C エリザベト＝ルイーゼ＝ヴィージェル＝ブランは 1755 年にパリで生まれた。肖像画家の父から教育を受け、少数ではあるが 15 歳にして肖像画の顧客を獲得していた。女性であるがゆえに公的な芸術教育を受けるすべは無かったが、ギルドやアカデミーの会員にならずしてプロの画家として活動していた。20 歳で彼女は聖ルカアカデミーに加盟した。彼女の名声は 18 世紀後半、王妃（い）がパトロンになった際に一躍高まった。彼女は王妃の肖像画を 30 枚ほど描いた。1776 年に画商のル＝ブランと結婚したものの、夫の賭博好きのため結婚生活はうまくゆかなかった。1783 年には王立アカデミーへ加盟した。しかし、1789 年には夫を置いて国を去った。革命の進展を恐れたことと、王妃（い）との関係性をめぐる中傷が原因であった。亡命の身でありながら、ヨーロッパ中を仕事と旅行で回り、一人で娘を育て上げた。彼女の肖像画は感情表現の点で優れており、ヨーロッパの貴族や王族から依頼を受け続けた。

(the National Gallery ホームページより翻訳 一部抜粋および改変)

問4 エリザベト＝ルイズ＝ヴィージェ＝ブランが描いた(い)の肖像画の一つが以下のものである。(い)に当てはまる人名を答えよ。



問5 フランス革命とナポレオンの治世の間に行った出来事を描いた絵画が以下のA～Dである。描かれた出来事の古い順に記号で並べよ。

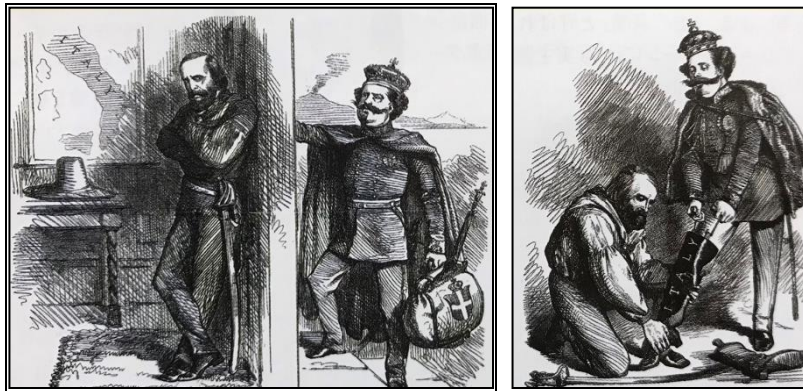


問6 以下の絵画は、ウィーン体制下のフランスで起きた革命を描いたものである。適切な説明文を1つ選べ。



- ① この革命により、ルイ=フィリップが国王として迎えられた。
- ② この革命により、ルイ=ナポレオンが皇帝となった。
- ③ この革命により、第二共和政が成立した。
- ④ この革命により、革命干渉戦争が始まった。

D 以下の2枚の絵の左側に描かれている人物は、いずれも（う）である。（う）は「青年イタリア」に加入しており、1834年にはジェノヴァで蜂起するも失敗し南米へ亡命した。1848年に帰国し、翌年にはローマ共和国防衛に参加するもまたもや失敗し、再び南米へと逃れた。1859年にはイタリア統一戦争に参加し、翌年には両シチリア王国を占領した。



問7 文中の（う）に当てはまる人名と、「青年イタリア」に関する説明として正しい説明の組み合わせについて、適切なものを選べ。

- | | |
|--------------|------------------------|
| ① う — マッツイーニ | 説明 — 共和主義、民族統一を掲げていた。 |
| ② う — マッツイーニ | 説明 — 立憲君主制、民族統一を掲げていた。 |
| ③ う — ガリバルディ | 説明 — 共和主義、民族統一を掲げていた。 |
| ④ う — ガリバルディ | 説明 — 立憲君主制、民族統一を掲げていた。 |

問8 この絵は日本の画家である東郷青児による「ソルフェリーノの啓示」(1977年)である。イタリア統一戦争の際、負傷者の救助を行ったとあるスイスの銀行家が、戦場における傷病者救護を目的とした国際組織を創設した。その契機となったシーンを描いたのがこの絵である。この組織の名称を答えよ。



E ビスマルクは「現下の大問題は言論や多数決によつては解決されない。1848年と1849年の過ちはそこにあった。それは鉄と血によつてのみ解決される」と、有名な演説を行っている。歴史家のシュルツェによれば、鉄と血という言葉は好戦的なユンカーの頭から生まれたものではなく、1813年の、学生の統一と解放の運動の中の歌から引用されたものだという。それはマックス＝フォン＝シェンゲンドルフの次の歌の中の一節から採られたものだという。

何故なら鉄のみが我らを救い
血のみが解決をもたらす
重い鉄鎖の罪から
悪しき傲慢の罪から

これはまさに革命の告白であり、ビスマルクは、その思想を受け止めたのである。まさにドイツの革命は下からではなく、上から行われたのである。

(阿部謹也『物語 ドイツの歴史』中公新書、1998年、p.210、一部改変)

問9 下線部について、その模様を表したのが次ページの絵画である。具体的にどの出来事を指しているのか、次ページの選択肢から1つ選べ。



- ① ドイツ連邦の成立
- ② ドイツ関税同盟の結成
- ③ フランクフルト国民議会の開催
- ④ 北ドイツ連邦の成立

問 10 この絵画は、ドイツにおけるビスマルクとカトリック勢力の対立を描いたものである。この対立を何とよぶか。



5

次のA・Bの文章を読み、古代アジア世界に関する下の設問に答えよ。

A 宗教の面でも、(a)インドは多様で複雑多岐な様相を呈する。(b)ヒンドゥー教の信者が総人口の8割以上にのぼり、圧倒的多数を占めるが、イスラーム教徒も、全体の13%強にあたる1億6000万人(2009年推計)を数える。意外に知られていないが、インドは、実に世界で第2位のイスラーム人口を擁する国家なのである。しかも、総人口に占めるイスラーム教徒の割合は、わずかずつ上昇している。キリスト教の布教も、カトリック、プロテスタントを問わず早くからおこなわれている。キリスト教徒の数は、全体の2.3%前後にとどまるが、(c)南インドのケーララ州では、全人口の5分の1にも達する。このほかインドは、シク教徒、(d)仏教徒、ジャイナ教徒、(e)ゾロアスター教徒などもある。極めて少数であるが、ユダヤ系の人口も抱えている。たがいに異なる宗教を信じる者たちのあいだで、摩擦が表面化することも多い。アヨーディヤのモスク(バーブリー・マスジッド)をめぐるヒンドゥー教徒とイスラーム教徒の衝突(1992～93年)は、われわれの記憶に新しい。

(山下博司『世界史リブレット5 ヒンドゥー教徒とインド社会』山川出版社、2019年、pp.5-6)

※問題の作成にあたり、一部改変

問1 下線部(a)で成立した古代文明について述べた次の①～④のうち正しいものを選び、記号で答えよ。

- ① 代表的な遺跡としてパンジャーブ地方のモエンジョ=ダロが挙げられる。
- ② 紀元前2600年頃にガンジス川の流域でおこった文明である。
- ③ 沐浴場や穀物蔵が煉瓦で造られ、下水設備も整った計画都市が存在した。
- ④ 石製印章の発掘により、使用されていた文字が解読された。

問2 下線部(b)に関連して、以下の(1)・(2)に答えよ。

(1) ヒンドゥー教について述べた次のX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から1つ選び、記号で答えよ。

X バラモン教(ヴェーダの宗教)に民間信仰が融合し一般民衆に浸透した。

Y シヴァ神やヴィシュヌ神など多くの神々が存在する。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤 ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

(2) 各ヴァルナの義務や社会規範を規定したヒンドゥー教の法典の名前を答えよ。

問3 下線部(c)に関連して、前1世紀頃から後3世紀頃まで、東南アジアや西方との交易で繁栄したデカン地方を中心としたドラヴィダ系の王朝の名前を答えよ。

問4 下線部(d)に関連して、仏教について述べた次の①～④のうち、誤りを含むものを1つ選び、記号で答えよ。

- ① アショーカ王の時代にスリランカ(セイロン島)への仏教の布教がおこなわれた。
- ② カニシカ王の時代に竜樹(ナーガールジュナ)による仏教研究が進んだ。
- ③ チャンドラグプタ2世の時代にエローラやアジャンターに石窟寺院が建設された。
- ④ ハルシャ王の時代にナーランダー僧院が建立された。

問5 下線部(e)に関連して、ゾロアスター教について述べた次のX・Yの正誤の組み合わせを次の

①～④から選び、記号で答えよ。

X ササン朝ペルシアで国教化された。

Y 唐代の中国に伝わり、景教と呼ばれた。

① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

B (a)前1千年紀末には東南アジアは変動の時代をむかえた。水稻農耕の発展と金属生産および製塩などの生産活動の進展が東南アジアの内部からの社会変動をもたらした。同時に中国やインドを中心とするアジアの通商・外交関係が成立したことが外部要因として大きなインパクトとなった。(b)アジア国際経済・外交関係の発展であり、民族的覚醒と国家形成へのうねりである。

(c)前202年に成立した漢は、約400年間の長期にわたりアジアの超大国として存在した。同じころユーラシアの西にはローマがあった。(d)インドでも前317年に成立したマウリヤ朝以後、強力な王権が存在した。各地域間の広域通商路が開発され、活発な商業活動とそれにとまなう人と物と情報の移動が東南アジアに国家形成の機運を生じさせた。

漢の社会が安定してくると、王侯貴族や富裕な階層が奢侈品をほしがらるようになった。(e)『漢書』「地理志」は、中国市場で価値の高い商品を求めて東南アジアからインド東岸にまででかける中国商人について記している。一方、西方の通商路も開発され、ローマ東方領とインドを結ぶ貿易路は、(あ)にあるように、紅海からアラビア半島にいたり、季節風を利用して一気にインド西岸に達するルートである。南インド東岸のタミールナドゥ州にあるアリカメドゥー遺跡は(あ)中のギリシア人港市ポドゥケーである。ローマ製のアレッティウム土器(後1世紀前半)、アンフォラ、インド回転紋土器などがあることから、紀元前後ころに始まる。ギリシア人商人が買い付けた商品は中国産の絹織物、東南アジアやインド産の香料、象牙、インド産の木綿布などであった。(f)東から中国人商人、西からはインド商人が東南アジア産品を求めて来航し、ギリシア人商人もインドを中継としてこの東西を結ぶ交易に加わっていた。

(石井米雄、桜井由躬雄編『新版世界各国史5 東南アジア史I』山川出版社、1999年、pp.36-37)

※問題の作成にあたり、一部改変

問6 文中の(あ)には航海・貿易の記録が当てはまる。これは、1世紀頃にギリシア人が著した紅海やインド洋における記録である。この記録を何というか答えよ。

問7 下線部(a)に関連して、前4世紀から前1世紀頃に成立したベトナムの青銅器・鉄器文化を何というか答えよ。

問8 下線部(b)に関連して、2世紀末頃ベトナム中部に成立し、インドや中国との中継貿易で繁栄した国の名前として正しいものを次の①～④のうちから1つ選び、記号で答えよ。

① 真臘 ② チャンパー ③ 扶南 ④ ドヴァーラヴァティー

問9 下線部(c)について、漢代に起きた出来事である次のA～Cを年代順に並べると下の①～⑥のどれになるか、記号で答えよ。

A 張騫が大月氏に派遣された。

B 班超が西域都護となった。

C 大秦王安敦の使者とされる者が日南郡を訪れた。

① A → B → C ② A → C → B

③ B → A → C ④ B → C → A

⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問10 下線部(d)に関連して、マウリヤ朝が存在した時期と同時期に起きた出来事として正しいものを次の①～④のうちから選び、記号で答えよ。

① 儒家の孔子が仁の実践を説いた。

② ビルマにパガン朝が成立した。

③ 宦官が党錮の禁を起こした。

④ 匈奴が冒頓単于のもと全盛期を迎えた。

問11 下線部(e)は、本紀・列伝を中心に記述を行う紀伝体で記されている。紀伝体で初めて記された『史記』を著した歴史家の名前を答えよ。

問12 下線部(f)に関連して、東南アジアの港市国家について述べた次のX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X シュリーヴィジャヤ王国がスマトラ島のパレンバンを中心に栄えた。

Y シャイレンドラ朝でヒンドゥー教の寺院であるボロブドゥールが造営された。

① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

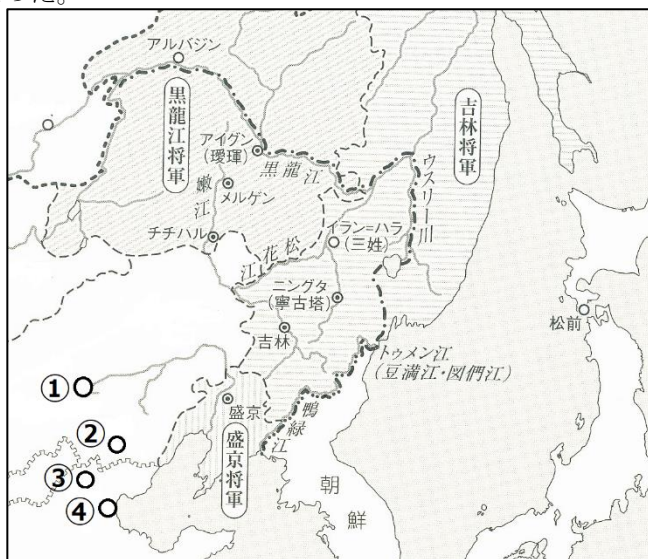
6 次のA、Bの文章を読み、下の設問に答えよ。

A 清の東北領すなわち遼寧・吉林・黒龍江三省は、しばしば「東三省」と呼ばれ、17世紀にこの地に置かれた盛京將軍・吉林將軍・黒龍江將軍の管轄区域にそれぞれ由来する（下の地図参照）。(a)この地域は、現在の「中国東北部」だけでなく現在ロシア領となっている黒龍江左岸・ウスリー川以東や内モンゴル自治区も含む地域である。

この地域の住人であった女真人は、15～16世紀には(b)明の間接支配下にあったが、16世紀後半に諸部に分かれていた女真人をヌルハチが統合した。

ヌルハチの子ホンタイジは、明の支配が緩んだことに乗じ、内モンゴルのチャハル部を従え、チンギス=ハン以来の(c)大ハンの位を継承した。さらに盛京（現在の瀋陽）で国号を清と改め、民族名も「満洲（マンジュ）」とした。

1644年、(d)明が滅亡すると、第三代の順治帝は山海関を越えて(e)北京に入り、中国皇帝の座を継承することとなった。



(杉山清彦「大清帝国のマンチュリア統治と帝国統合の構造」『近代東北アジアの誕生—跨境史への試み』北海道大学出版会、2008年、p.238をもとに作成した。)

問1 下線部(a)に関連して、次の文①～④はユーラシア東北部の国境画定に関する2つの条約について述べた文である。地図も参考にしながら、内容が正しいものを1つ選べ。

- ① ネルチンスク条約を締結したときのロシアの皇帝はエカチェリーナ2世である。
- ② ネルチンスク条約によりロシアは清の冊封を受け、通商や不法越境者の処罰を規定した。
- ③ 北京条約により、地図中の黒龍江將軍管轄内にあった沿海州はロシア領となった。
- ④ 北京条約によって、清は大幅な領土後退を余儀なくされた。

問2 下線部(b)の初期の出来事について関連する次の文A～Cが年代の古いものから順に正しく配列されているものを下の①～⑥のうちから1つ選べ。

- A 南京から北京へ遷都した。
- B 中書省と丞相（宰相）が廃止された。
- C 燕王が挙兵し南京を占領した。

- ① A → B → C ② A → C → B
- ③ B → A → C ④ B → C → A
- ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問3 下線部(c)に関連して、次の遊牧民の君主について述べたX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X ジュンガルのエセンは、土木堡で明の正統帝をとらえた。

Y タタールのアルタンは、朝貢貿易の拡大を求め、明へ侵入を繰り返した。

- ① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤 ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問4 下線部(d)の直接のきっかけとなった人物は次の①～④のうち誰か。

- ① 呉三桂 ② 李自成 ③ 鄭成功 ④ 朱元璋

問5 下線部(e)の位置を地図中の①～④の中からひとつ選べ。

B 次の文章は『農政全書』の抜粋である。

かつて宋の紹興年間（1131年～1162年）のことを考えてみるに、松江地方（現在の上海市近郊）から収める(f)税糧は18万石だけであったが、現在では納米額が97万石であり、これに付加税や諸種の徭役の費用などを加えて考えると、宋代の10倍にもなる。

松江の境域は100里程度の広さであり、農田から得られる収入は他郡邑に比べて多くはない。この地が100万の賦税を納め、300年間も安定した生活ができたのは、全く農村の機織工業のおかげである。

このような事情は決して松江だけではなく、(g)蘇州・杭州・常州・鎮江および、嘉興・湖州の絹織物・麻織物などについても同様であり、これらの地方では、農家の女性が機織り作業で作った製品によって、上は国家の賦税を支え、下は生活費の補助としている。もしこれらすべてを農田からの収入のみでまかなおうとしてもそれはとてもできないことである。

(九里幾久雄編『世界史資料』上、東京法令出版、1979年、p.289より抜粋し一部改変した。)

問6 『農政全書』の編者とされるのは誰か。次の①～④のうちから1つ選べ。

- ① 顧炎武 ② 徐光啓 ③ 董其昌 ④ 李時珍

問7 次の文①～④の中で、問6の人物が関わった出来事はどれか。

- ① マテオ=リッチがエウクレイデス（ユークリッド）の『幾何学原本』を翻訳した。
② フェルビーストが大砲鑄造などの技術を伝えた。
③ ブーヴェが「皇輿全覧図」の作製に協力した。
④ カスティリオーネが円明園の設計に参加した。

問8 下線部(f)に関連して、Bが書かれた頃の税制について述べたものは次のうちどれか。

- ① 夏と秋の2回にわたり各戸の資産・土地所有の大小に応じて戸税・地税を課した。
② 人頭税を廃止し、その分の必要税額を地銀に組み込んで土地所有者から徴収した。
③ 土地税・人頭税・労役などを銀で一括して納めさせた。
④ 個人に等しく給田し、その上で決められた額の租税と労役を課した。

問9 Bの内容から推測できる内容を述べたものは次の①～④のうちどれか。

- ① 黄河流域では、キビなどの雑穀生産が中心であったが徐々に小麦の栽培が普及した。
② 黄河流域には、通済渠の完成により、江南の物資が多く運ばれるようになった。
③ 長江流域では、農村副業が発達し、桑を栽培して養蚕・製糸を行う農民が増えた。
④ 長江流域の稲作の中心地が、中流域から下流域の蘇州・湖州に移った。

問 10 下線部(g)は明・清代に物流の中心として繁栄した都市である。これに関連して、次の文章は、明の文人・官人であった謝肇淛（しゃちようせつ）（1567年～1624年）が著した『五雜俎（ござつそ）』の一部である。空欄（ア）と（イ）に入る商人集団の組み合わせとして正しいものを次の①～④のうちから1つ選べ。

現在、最も富強を誇っているのは、江南ではすなわち（ア）（徽州）であり、江北ではすなわち（イ）である。（ア）の巨商は魚塩の販売で100万の貨財を蓄えているものがおり、2、30万程度は中商である。（イ）の商人は、繊維・穀物などを取り扱い、その富は（ア）の商人よりも大きいものがある。

（謝肇淛著『五雜俎』巻4 吉田 寅訳）

（九里幾久雄編『世界史資料』上，東京法令出版，1979年，p.289より抜粋し一部改変した。）

- | | | |
|---|---------|---------|
| ① | （ア）－ 新安 | （イ）－ 山西 |
| ② | （ア）－ 新安 | （イ）－ 浙江 |
| ③ | （ア）－ 広東 | （イ）－ 山西 |
| ④ | （ア）－ 広東 | （イ）－ 浙江 |

7 オスマン帝国に関する次の文章を読み、下の設問に答えよ。

600年以上におよぶ(a)オスマン帝国の歴史を、ある研究者は、封建的侯国・集権的帝国・分権的帝国・近代帝国の時代の4つの時代に分けている。

封建的侯国の時代とは、オスマン朝が成立したとされる1299年から1453年までをさす。オスマン王家を軸に(b)アナトリア地方の豪族や旧トルコ系侯国の出身者などの半自立的な集団が、(c)イスラーム諸王朝の統治システムを取り入れながら、国家を形成していった時代である。

(d)ビザンツ帝国の首都コンスタンティノープルを征服した1453年から1574年までが、集権的帝国の時代にあたる。(ア)を頂点とした中央集権化が進められ、後に(e)オスマン帝国の黄金時代とみなされることとなる。

分権的帝国の時代とは、ムラト3世の即位した1574年からマフムト2世が即位した1808年までをさす。かつて、この時代は無能な(ア)によって(f)領土が縮小した衰退期と考えられていた。しかし近年の研究では、首都の有力者たちが「(ア)独裁」を変革したことで安定した国政運営がなされるようになり、大いに繁栄した時代とみなされている。

最後の近代帝国の時代とは、1808年以降である。旧来のヨーロッパ中心の視点では、1798年のナポレオンの(g)エジプト遠征がこの時代の起点とされていた。しかしオスマン帝国を主体とする歴史を考えるならば、(h)近代化の第一歩を踏み出したマフムト2世の即位した年の方が理にかなっていると言えよう。そして(i)第一次世界大戦を経て、1922年にオスマン帝国は滅亡し、翌23年にトルコ共和国が成立したのである。

問1 下線部(a)について、かつてオスマン帝国は、しばしばトルコあるいはオスマン・トルコと呼ばれてきた。しかしオスマン帝国がトルコと自称することはなかったし、トルコ系民族が多数派であった時期もかなり短かった。むしろ多民族国家であるオスマン帝国では、非トルコ系出身者が支配エリート層を占めていた。上記のことをふまえて、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X デヴシルメによってムスリムに改宗させられたキリスト教徒の少年のなかで、とくに優秀な者はイエニチェリの兵士や官僚に抜擢された。

Y 19世紀後半のヨーロッパの東方進出に対抗するため、アフガーニーは、あえてトルコ民族を中心とするナショナリズム(パン=トルコ主義)と反帝国主義を提唱した。

① X-正 Y-正 ② X-正 Y-誤 ③ X-誤 Y-正 ④ X-誤 Y-誤

問2 下線部(b)について、11世紀後半～13世紀全般に、この地域のイスラーム化・トルコ化をすすめた王朝を、次の①～④から選び、その王朝の説明として正しい文を⑤～⑧から選べ。

① ルーム=セルジューク朝 ② カラハン朝

③ セルジューク朝 ④ アイユーブ朝

⑤ サーマーン朝を滅ぼし、初めてのトルコ系王朝として勢力を拡大した。

⑥ ビザンツ帝国を攻撃し、十字軍の遠征のきっかけをつくった。

⑦ モンゴル軍の侵攻を受け、イル=ハン国(フラグ=ウルス)の傀儡となった。

⑧ 対外的には十字軍と対決する一方、国内ではイクター制が発展した。

問3 下線部(c)について、929年頃、後ウマイヤ朝の第8代の君主であったアブド=アッラフマーン3世がカリフと称したことから、この時代のイスラーム世界では3人のカリフが鼎立することとなった。アブド=アッラフマーン3世がカリフ号を用いた背景を簡潔に説明せよ。

- 問4 下線部(d)について、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。
 X イスラーム勢は、正統カリフ時代にビザンツ領であったシリアを獲得し、さらに次のウマイヤ朝の時代にはエジプトも征服した。
 Y ムスリムが支配した旧ビザンツ領内では、イコノクラスム（聖像禁止令、聖画像禁止令、または偶像禁止令）が發布された。
 ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

- 問5 (ア)に入る適切な語句を①～④から選び、その説明として正しい文を⑤～⑧から選べ。
 ① ウラマー ② イマーム ③ アミール ④ スルタン
 ⑤ 宗教的権威を有するカリフに対し、世俗権力を握って政治を行なった。
 ⑥ イスラーム法（シャリーア）に精通した知識人として政治を行なった。
 ⑦ イスラーム共同体（ウンマ）の最高指導者として政治を行なった。
 ⑧ 本来は軍隊の司令官・総督であったが、権力を強化し政治を行なった。

- 問6 下線部(e)について、次の4つの出来事を古い順に記号で並べよ。
 あ クリム＝ハン国を服属させ、黒海の制海権を握った。
 い 聖地であるメッカとメディナを支配下においた。
 う 第一次ウィーン包囲で神聖ローマ皇帝カール5世を苦しめた。
 え プレヴェザの海戦でヨーロッパ側の連合艦隊に勝利した。

- 問7 下線部(f)について、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。
 X 第二次ウィーン包囲の失敗につづき、モハーチの戦いにも敗北したオスマン帝国は、ハンガリーの大半をオーストリアに割譲した。
 Y 18世紀中頃、アラビア半島中部のサウード家は、イスラームの原点回帰をめざすワッハーブ王国を建国し、オスマン帝国からの自立をはかった。
 ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

- 問8 下線部(g)について、この影響により、この年のメッカ巡礼が不可能となったことが大問題となった。メッカについて述べた次の①～④のうち正しいものを1つ選び、記号で答えよ。
 ① ムハンマドが生まれた頃のメッカでは、カーリミー商人が東西交易で活躍をしていた。
 ② メッカのカーバ聖殿は、もとはアラブ人の信じるアフラ＝マズダを祀る神殿であった。
 ③ メッカで迫害されたムハンマドたちが、メディナに移住した出来事をジハードという。
 ④ ムハンマドは、メディナ時代に礼拝の方角をイェルサレムからメッカに変更した。

- 問9 下線部(h)について、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。
 X かつて君主直属の歩兵常備軍団として活躍してきたイエニチェリが、政治介入などを始めて弊害がめだってきたので廃止された。
 Y アブデュルハミト2世は、宰相ミドハト＝パシヤの起草したアジア最初の近代憲法を、露土（ロシア＝トルコ）戦争の開戦を口実に停止した。
 ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

- 問10 下線部(i)について、次の4つの出来事を古い順に記号で並べよ。
 あ ローザンヌ条約の締結 い セーヴル条約の締結
 う カリフ制度の廃止 え 帝制の廃止

8 次の文章は、ペテルブルクの新聞に発表された論説である。文章を読んで下の設問に答えよ。

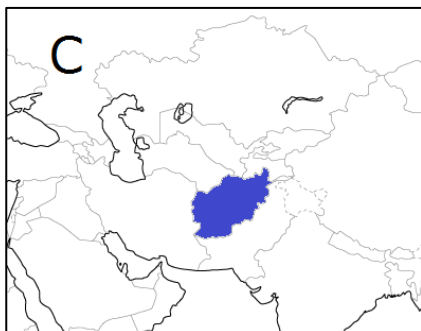
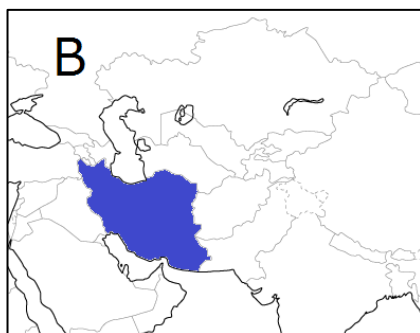
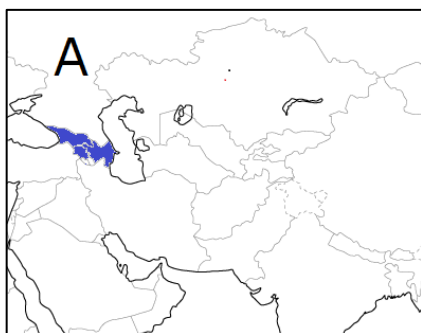
中央アジアの大平原をいまやロシアと(a)イギリスの両国が分割しつつある。このいずれかが近い将来、もっぱら通商の手段を用いてここ(b)トゥランの地に自己の影響力の確立を目指すであろうことは疑いない。けだし、中央アジアの都市や集落は、ロシア商業の発展にとって、広大にして(c)独占的な市場である。アム川以南の市場は、(d)イギリス商品で満たされているものの、これらは容易なことではトゥラン北部には浸透してはこない。なぜなら、(e)この地のアジア人の政権や住民は、インドのように早晚イギリスに屈して(f)大英帝国の属領になることを恐れ、イギリスとそのエージェントを信頼してはいないからである。インドにおけるイギリス人の振舞いに関する(g)ムスリム狂信者たちの誇大な言説は、中央アジアのヨーロッパ人に対する嫌悪の念を少なからずかきたてている。これから明らかなおと、トルキスタンに必要な不可欠の商品を供給するロシアは、イギリスよりもはるかに容易にここに影響力を確立することができるのである。すべては、ロシアの選択する手段と方法とにかかっている。問題はこれらの方法が地域や住民の特徴にかなっているかいないかである。もちろん征服は不可能であり、論外である。

(小松久男「危機と応戦のイスラーム世界」同編『イスラーム世界とアフリカ』、1998年、p. 36)

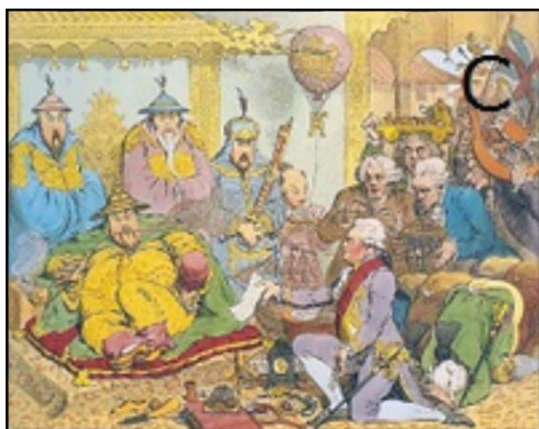
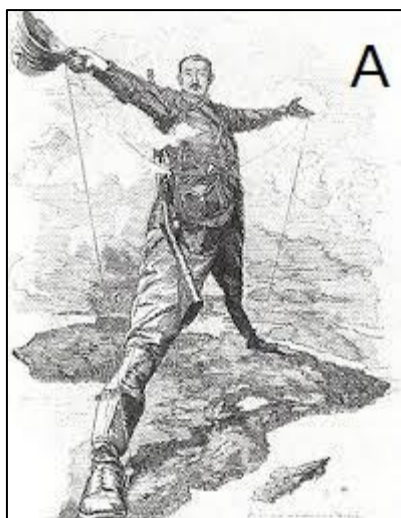
問1 下線部(a)について、この論説が発表された当時のイギリスについて述べた次の①～④のうち、正しいものを1つ選び、記号で答えよ。

- ① ブラッシーの戦いでフランスが支援するベンガル太守軍を破った。
- ② ギリシア独立戦争で、ギリシアの独立を支援した。
- ③ アロー戦争（第2次アヘン戦争）をきっかけに、清と天津条約を結んだ。
- ④ 保守党と労働党の二大政党が主に政権を担った。

問2 下線部(b)について、「トゥラン」が示す地域として最もふさわしいものは、次の地図A～Dのうちどれか。文章を参考にしつつ答えよ。



問3 下線部(c)について、帝国主義列強の市場の独占を求める動きを描いた絵画としてふさわしくないものを、次のA～Dより1つ選べ。



問4 下線部(d)について、ここでの「イギリス商品」とは、何を指すと考えられるか。次の①～④のうち、最もふさわしいものを1つ選べ。

- ① 綿布
- ② コーヒー
- ③ アヘン
- ④ タバコ

問5 下線部(e)について、「この地のアジア人の政権」について述べた次の文章X・Yの正誤の組み合わせを、次の①～④から選び、記号で答えよ。

X イギリスとロシアの緩衝地帯として独立を維持し、近代化を進めた。

Y 社会不安を反映して起こったパーブ教徒の乱を鎮圧した。

- ① X-正 Y-正
- ② X-正 Y-誤
- ③ X-誤 Y-正
- ④ X-誤 Y-誤

問6 下線部(f)について、「大英帝国」に関する次のA～Cを年代順に並べると下の①～⑥のどれになるか、記号で答えよ。

- A アフリカで縦断政策を進め、南アフリカ戦争に勝利した。
- B ディズレーリ首相のもと、スエズ運河会社の株を買収した。
- C 獲得していたシンガポールなどを海峡植民地とした。

- ① A → B → C ② A → C → B
- ③ B → A → C ④ B → C → A
- ⑤ C → A → B ⑥ C → B → A

問7 下線部(g)について、この時代に「改革」を求めたアジア・アフリカ各地の宗教運動は、しばしばヨーロッパ諸国から「狂信者」や「反逆者」のレッテルを貼られた。宗教を基盤としたアジア各地の改革運動について述べた次の①～④のうち、正しいものを1つ選び、記号で答えよ。

- ① アラビア半島では、サ우드家と連携したタバコ=ボイコット運動が起こった。
- ② 日清戦争後、朝鮮では外国排斥を主張する東学が創始された。
- ③ キリスト教の流れを汲む太平天国が清朝打倒をめざし、挙兵した。
- ④ アルジェリアでマフディー（救世主）を名乗る指導者が蜂起した。

問8 この論説が書かれたロシアに関する内容を記した次のX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

- X クリミア戦争ではイギリスとフランスがオスマン帝国を支援したため、南下を阻まれた。
- Y 清と北京条約を結び、沿海州を手に入れ、ウラジオストク港を開いた。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問9 この論説の筆者が主張している内容を記した次のX・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

- X イギリスではなくロシアが中央アジアを獲得するべきである。
- Y ロシアは武力によって中央アジアを征服するべきである。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問10 生徒Aさんはこの論説をある研究テーマに関する史料として使う予定である。Aさんの研究テーマとして最もふさわしいものを、次の①～④から1つ選べ。

- ① 中央アジアの争奪戦に対するロシア知識人の認識
- ② 英露協商下でのロシアとイギリスの経済的交流
- ③ ロシアの中央アジアにおける灌漑の技術改良
- ④ ロシア帝国内の民族・宗教の多様性

9 あるクラスの世界史の授業で、第二次世界大戦やそれに関わる出来事についての調べ学習を各班で行った。各班の会話文を読み、下の設問に答えよ。

【1班】

生徒A：私たちの班は、第二次世界大戦当時のアメリカの大統領であるフランクリン＝ローズヴェルトについて調べてみました。資料 i は 1932 年の大統領選で、共和党のフーヴァー政権を批判した際の訴えです。

生徒B：彼はその選挙で勝利し、大統領に就任後、ニューディール政策の実施や（ア）など行いました。

生徒A：そういえば彼は 1937 年 10 月 5 日にシカゴで、資料 ii で示したように、侵略行為を行う国を指摘しています。そして、それらの国を国際社会から監視すべきといった(a)「隔離演説」なるものを行っています。

資料 i

どれほどうまく取り繕っても、(無駄遣いの法案を) 隠すことはできない。財政赤字を止め、借金を止める勇気。今こそそれが必要なときである。

資料 ii

世界人口の 90%の平和・自由・安全が、あらゆる国際秩序、国際法を破壊すると脅迫する残りの 10%以上によって危険にさらされている。無法という疫病が広がっていることは、不幸にも真実のようだ。疫病が広がり始める時、社会は社会の健康を病気の蔓延から守るため病人の隔離を承認し、それを共同で行うものである。

問 1 資料 i で主張している内容と（ア）に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④から選べ。

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① 主張—積極的な公共投資をすべき | ア—男女普通選挙の実現 |
| ② 主張—積極的な公共投資をすべき | ア—金本位制の停止 |
| ③ 主張—財政の均衡化を図るべき | ア—男女普通選挙の実現 |
| ④ 主張—財政の均衡化を図るべき | ア—金本位制の停止 |

問 2 下線部(a) について、資料 ii にある「病人」の起こした行動として誤っているものを、次の①～④から選べ。

- ① エチオピアに対する侵攻
- ② フィンランドに対する侵攻
- ③ スペイン北部のゲルニカへの無差別爆撃
- ④ 北京郊外の盧溝橋付近での中国軍に対する攻撃

【2班】

生徒C：私たちの班は、第二次世界大戦の開戦と日本への影響について調べてみました。(b)資料 iii はネヴィル＝チェンバレンの発言で、今までのドイツに対する宥和政策からの転換が読み取れます。

生徒D：(c)ドイツのヒトラーはこの発言後に、ソ連のスターリンとの間で独ソ不可侵条約を結びました。そして(d)この条約は日本にも大きな影響を与えました。

資料iii

私はいま議会に次のように報告しなくてはなりません。[A]の独立を脅かす行動があり、[A]政府が抵抗せざるを得ないと決めた時に、我がイギリス政府には、[A]政府を全面的に支援する義務があります。[A]政府にはそのように伝えてあります。フランス政府も同様の立場であることを付言しておきます。同政府は、私がこの場でこのように発言することを承認しています。

問3 下線部(b)について、資料iiiの空欄 [A]に入る国名を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、独ソ不可侵条約が締結されるまでのヒトラーについて述べた次の①～③のうち誤っているものを1つ選び、記号で答えよ。ただし全て正しい場合は④と答えよ。

- ① フランスとベルギーのルール占領に対して、ドイツが消極的抵抗策をとったため、ミュンヘン一揆を起こした。
- ② 国会議事堂放火事件を利用してドイツ共産党を弾圧し、全権委任法を成立させ、国会の立法権を政府に移した。
- ③ フランスの仏ソ相互援助条約の成立をうけ、ラパロ条約を破棄し、非武装地域のラインラントに軍を進駐させた。

問5 下線部(d)について、独ソ不可侵条約の締結を受け、当時の日本の平沼騏一郎首相は、「欧州の天地は複雑怪奇なる新情勢を生じたので、従来準備し来った政策を之を打ち切り…」と述べて、退陣することとなった。退陣する前の日本を取り巻く状況について述べた次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X 日本は、日独伊三国同盟を成立させていた。

Y 日本とソ連は、満州国とモンゴル人民共和国の国境付近で交戦中であった。

- ① X－正 Y－正
- ② X－正 Y－誤
- ③ X－誤 Y－正
- ④ X－誤 Y－誤

【3班】

生徒E：私たちの班は、第二次世界大戦の奇襲について調べてみました。ドイツは1941年に独ソ不可侵条約を破り、(e)ソ連に対して奇襲攻撃を行いました。

生徒F：そうです。奇襲と言えば同年に日本は、ハワイのパールハーバー（真珠湾）のアメリカ海軍基地を攻撃して、太平洋戦争に突入しました。

生徒E：この出来事の要因の1つに、日本のフランス領インドシナ南部進駐に対してのアメリカの政策があるみたいです。

生徒F：そうです。フランス領インドシナ南部進駐の第一の目的は、南方作戦のための基地の獲得にありました。シェムリアップやプノンペンなどの航空基地やサイゴン、カムラン湾などの海軍基地を（イ）に要求しました。この地域での基地設定が、アメリカ、イギリス、[B]などに脅威を与えることになりました。

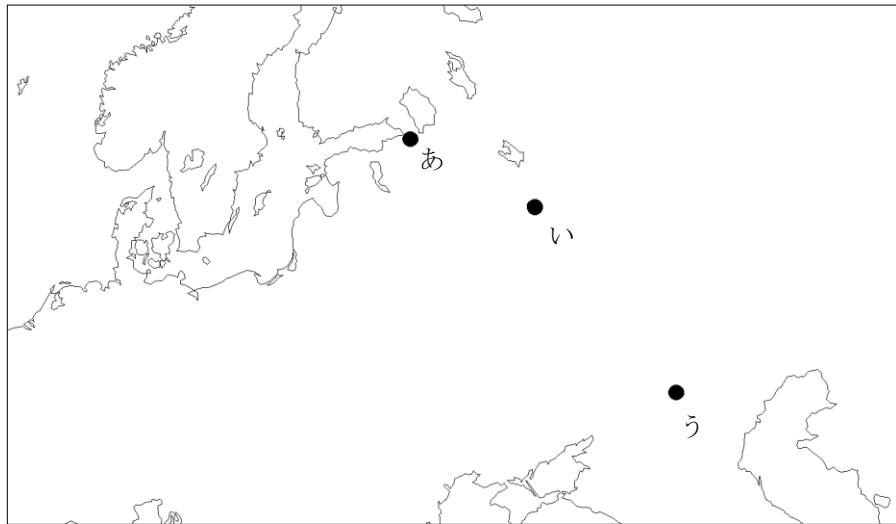
生徒E：それを受け、アメリカは日本に対して[C]を行いました。

生徒F：はい。当時の日本は、この物資の総額の4分の3以上をアメリカからの輸入に頼っていたので、日本にとってこの政策が、致命的な問題となりました。

生徒E：日本は、この物資を[B]領東インドなどからも輸入していました。

生徒F：[B]もアメリカのこの動きに同調したので、「ABCD包囲網」の一角を担いました。

問6 下線部(e) について、1943年にドイツ軍を降伏させたスターリングラード（現ヴォルゴグラード）の位置と、ソ連がイギリスやアメリカと協調したため、同年に解散した組織の組合せとして正しいものを、次の①～④から選べ。



- | | | | |
|--------|------------|--------|-----------|
| ① 位置—あ | 組織—コミンフォルム | ② 位置—あ | 組織—コミンテルン |
| ③ 位置—い | 組織—コミンフォルム | ④ 位置—い | 組織—コミンテルン |
| ⑤ 位置—う | 組織—コミンフォルム | ⑥ 位置—う | 組織—コミンテルン |

問7 会話文の空欄（イ）に入る語句として正しいものを、次の①～④から選べ。

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ① 南フランスのヴィシー政権 | ② パリを支配するヒトラー政権 |
| ③ ド=ゴールを代表とする自由フランス政府 | ④ 国際連盟 |

問8 会話文の空欄 [B] に入る国名を答えよ。

問9 会話文の空欄 [C] に入る政策を 10 文字以内で答えよ。

【4班】

生徒E：私たちの班は、第二次世界大戦終結に向けた会談について調べてみました。1943年の(f) カイロ会談では、対日処理の方針が決定しました。資料ivがその公式声明です。またカイロ会談の終了から2日後はテヘランで会談が行われました。

生徒F：1945年には、テヘラン会談と同様の首脳たちによってヤルタ会談が行われました。この会談の中心議題は、ドイツの戦後処理の方針の決定などでした。

生徒E：ただ、このヤルタ会談では、ソ連の対日参戦の条件である極東に対する合意もされたのでした。あと調べていく中で、(g) 1944年に行われたモスクワ会談では、戦後の東ヨーロッパの枠組みを決める重大な内容が秘密裏に協議されたと分かりました。

資料iv

また日本が中国から盗んだ満州、台湾、澎湖諸島は中華民国に返還されなければならない。それだけでなく、日本は暴力と欲望にまかせて獲得した領土から放逐されなくてはならない。三国は、奴隷状態に置かれている朝鮮の人々を憂い、時期を見た上で、朝鮮は自由となり独立すべきであると考えた。

問 10 下線部(f)について、次の文X・Yの正誤の組み合わせを次の①～④から選び、記号で答えよ。

X この会談はフランクリン＝ローズヴェルト、チャーチル、毛沢東によって開催された。

Y この会談で日本に対して、満州事変以後に中国で獲得した領土の返還が決定した。

- ① X－正 Y－正 ② X－正 Y－誤 ③ X－誤 Y－正 ④ X－誤 Y－誤

問 11 下線部(g)について、この会談で戦後のバルカン半島の5カ国のイギリスとソ連の利権が話し合われた。表 i にイギリスとソ連の5カ国の利権の割合をまとめた。下の①～⑤はこの5カ国のそれぞれの戦後の状況を示している。表 i の (ウ) ・ (エ) に入る国の特徴として正しいものを、下の①～⑤からそれぞれ選べ。

表 i

ルーマニア	…	ソ連	90%	他国	10%
(ウ)	…	イギリス	90%	ソ連	10%
(エ)	…	イギリス	50%	ソ連	50%
ハンガリー	…	イギリス	50%	ソ連	50%
ブルガリア	…	ソ連	75%	他国	25%

- ① トルーマン＝ドクトリンにより、トルコとともにアメリカの軍事経済援助の対象国となった。
 ② 1946年の国民投票の結果、1908年から続く王政が廃止された。
 ③ 西ヨーロッパ諸国との関係を強化したチャウシェスクが独裁を行った。
 ④ フルシチョフのスターリン批判に対して、反ソ暴動が起こった。
 ⑤ ティトー大統領の指導のもと、自主管理社会主義を目指した。

10 旅の歴史に関する文章A～Cを読み、下の設問に答えよ。

A (a)玄奘が後世に(b)シルクロードと呼ばれる道を誰よりも遠く、誰よりも長い時間をかけ、誰よりも広大な空間を歩き通すことのできたのは、アジアとアラビア世界で生まれつつあった新世界への胎動と共振するなにものが玄奘の内に醸成されていたからであろう。

玄奘は人生の骨格をつくりあげる重要な17年を、旅と学習のうちに過ごし、自分が歩き、まなざしに留めた(c)7世紀の西域・中央アジアの生き生きとした世界のすべてを、帰国後(d)『大唐西域記』に記録して残した。ひとり玄奘のみが実見したこの中央アジアの記録は、千数百年のちに近代考古学における最高の(e)ガイドブックとして役立つばかりでなく、その記録の正確さと記述の豊かさによっていまなお有益な指針としての価値をすこしも失っていない。考古学的事実が明らかになればなるほど、玄奘の記録の凄さ、研ぎすまされたまなざしの鋭さに改めて驚かされずにはいられない。

(前田耕作『玄奘三蔵、シルクロードを行く』岩波新書、2010年、pp. i - ii)

問1 下線部(a)について、玄奘よりも前に仏典を求めて中国からインドに渡った僧とその説明との組み合わせのうち、正しいものを次から1つ選べ。

- ① 義浄 — 往復ともに陸路でインドへ行き、帰国後、『南海寄帰内法伝』を著した。
- ② 鳩摩羅什 — 往復ともに海路でインドへ行き、帰国後、『仏国記』を著した。
- ③ 達磨 — 往路は海路でインドへ行き、陸路で帰国後、『南海寄帰内法伝』を著した。
- ④ 法顕 — 往路は陸路でインドへ行き、海路で帰国後、『仏国記』を著した。

問2 下線部(b)について、「地球最後の秘境」の一つとしてシルクロード(絹の道)の探検が、19世紀から20世紀にかけてさかんに行われた。下の表を参考に、列強による探検の前提となる時代背景と探検の端緒となった莫高窟(千仏洞)で知られる都市との組み合わせを1つ選べ。

プルジェワルスキー(ロシア) (1839～88)	1877年、タリム盆地でロプノール(湖)を発見。黄河の源流をきわめ、多くの旅行記を残した
スタイン(イギリス)* (1862～1943)*ハンガリーから帰化	1900年から3回にわたり中央アジアを探検。ニヤ遺跡(東トルキスタンの古代文明)を発見。1907年、千仏洞の古写本を発見
大谷光瑞(日本) (1876～1948)	1902年から3回にわたって、西本願寺の財力を背景に中央アジア探検隊を組織。本人も第1回に参加した
ペリオ(フランス) (1878～1945)	1906～08年にかけて中央アジアを探検。仏教諸遺跡の調査を行い、文書や絵画など、多くの文物を発見。多言語の出土文書を使い、中央アジア史研究に貢献した

シルクロードの探検家たち(帝国書院『タペストリー 十九訂版』p.95を一部改変)

前提となる時代背景

- X ロシアの南下と、それに対抗するイギリスとの帝国主義的勢力争いがあった。
- Y 清朝が巨大な広域経済圏を、陸上(中国～欧州)と海上(南シナ海～インド洋)の双方に構築しようとする「一带一路」構想を進めていた。

莫高窟(千仏洞)で知られる都市

あ 雲崗 い サマルカンド う 敦煌 え ラサ

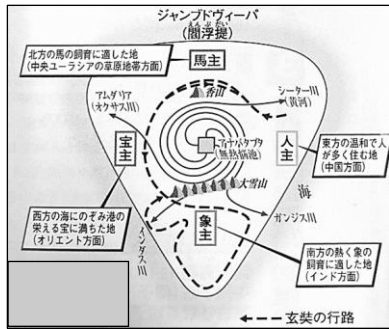
- ① X - あ ② X - い ③ X - う ④ X - え
- ⑤ Y - あ ⑥ Y - い ⑦ Y - う ⑧ Y - え

問3 下線部(c)について、7世紀の世界を説明した文として誤りを含むものを次から1つ選べ。

- ① 西ヨーロッパではフランク王国が発展する一方、東ヨーロッパではビザンツ帝国が周辺諸民族の侵入によって領土を大幅に縮小しつつも存続した。
- ② アラビア半島では、ムハンマドがイスラームの教えを広め、その後、最初のイスラーム王朝であるウマイヤ朝が生まれた。
- ③ インドではヴァルダナ朝がおこり、仏教文化の保護が進められたが、ハルシャ王の死後衰退し、ヒンドゥー教はさらに発展した。
- ④ 中国では隋が成立して勢力圏を拡大し、朝鮮半島では隋と結んだ新羅が半島を統一した。

問4 下線部(d)の『大唐西域記』に記された仏教徒の世界観は下のように図示できる。長い歴史のなかで人々はさまざまな地図をつくりあげたが、下の地図X～Zとそれらから読み取れる情報(あ～うの文)との組み合わせのうち、最も適当なものを1つ選べ。

『大唐西域記』に記された世界(仏教徒の世界観)



地図

X



Y



Z



地図から読み取れる情報

- あ アレクサンドリアのプトレマイオスが150年にギリシア語で記した『地理書』によって、ローマ人はユーラシアの大まかな形を把握していた。
- い 中世ヨーロッパでは、地図はキリスト教的世界観を描くもので、中心には聖地がおかれた。アジア・ヨーロッパ・アフリカを分ける川や海がアルファベットのT、世界を囲む海がOの字に見えることから「TOマップ」という(実際には東を上にして描かれた)。
- う イドリーシーが、プトレマイオスの地図を基礎として、世界各地でさかんに活動する商人たちから情報を集め、聖地中心の地図を作り上げた(実際には南を上にして地図が書かれた)。(帝国書院『タペストリー十八訂版』巻末折込より)

- | | | |
|---------|-------|-------|
| ① X - あ | Y - い | Z - う |
| ② X - い | Y - う | Z - あ |
| ③ X - う | Y - あ | Z - い |
| ④ X - あ | Y - う | Z - い |
| ⑤ X - い | Y - あ | Z - う |
| ⑥ X - う | Y - い | Z - あ |

問5 下線部(e)について、コロンブスが東アジアのガイドブックとして手にしたのが、マルコ=ポーロの『世界の記述(東方見聞録)』であったとされる。この記録が書かれた13世紀後半の世界について述べた文のうち、誤りを含むものを次から1つ選べ。

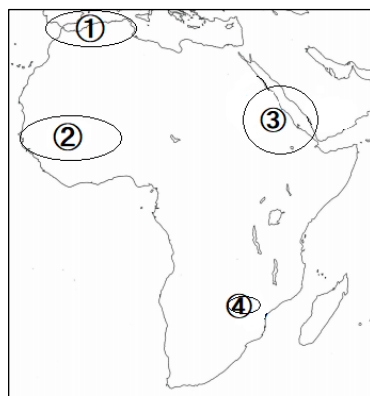
- ① アッコングが陥落し、第7回十字軍が失敗に終わった。
- ② イベリア半島ではレコンキスタ(国土回復運動)が完了した。
- ③ 日本では執権北条時宗が、2度にわたる元寇を撃退した。
- ④ マムルーク朝がメッカ・メディナを保護下においた。

B イスラーム世界の人たちは、交通手段が乏しくても、さまざまな動機や目的をもって旅にでた。とくに聖地への巡礼は経済的・社会的な諸条件が許すかぎり、すべてのムスリムに課せられた義務であって、(f)巡礼の旅で見聞された両聖地のようす、巡礼儀式の所作のほか、旅の行き帰りに見聞き、経験したり収集されたりしたさまざまな情報を記録した旅行記は「リフラ」(巡礼紀行文学)という一定のジャンルのもとに記録され、それを読む人たちを未知の世界へと駆り立てたのである。……旅は、人の空間的移動を意味するが、さらに人の移動を可能にする条件としての運輸・輸送と通信・情報などの問題が含まれるので、広義には「交通」と同義であるといえる。……西アジア地域は三つの大陸の接点であり、さまざまな人・もの・文化・情報の交錯する、いわば(g)交通ネットワークの接点に位置する。

(家島彦一『イブン・ジュバイルとイブン・バットゥータ イスラーム世界の交通と旅』, 2013年, pp. 3-4)

問6 下線部(f)の巡礼の旅について、次の問いに答えなさい。

(1) イブン=バットゥータも訪れたマリ王国は、国王マンサ=ムーサが豪勢な聖地巡礼を行い、その途上のカイロで施したとされる膨大な金の噂によって、「黄金の帝国」として知られるようになった。塩金交易で栄えたこの国のおおよその位置を、地図中の①~④から1つ選べ。



(2) 巡礼の旅がテーマの『カンタベリ物語』の内容を説明した文X・Yとその作者ア~エとの組み合わせとして、正しいものを次から選べ。

X ペストから逃れてフィレンツェ郊外に引きこもった男女10人が、毎夜1話ずつ物語る。
Y 同宿だったさまざまな身分・職業の29人が、道中の退屈しのぎに順番に物語る。

あ イタリアのボッカチオ(ボッカッチョ) い イギリスのチョーサー
う フランスのラブレール え スペインのセルバンテス

- ① X - あ ② X - い ③ X - う ④ X - え
- ⑤ Y - あ ⑥ Y - い ⑦ Y - う ⑧ Y - え

問7 下線部(g)について、ムスリム商人が行き交う陸のルートでは、隊商(キャラバン)貿易が行われたが、海のルートでは季節風を利用してアラビア海とインド洋を帆船が往来した。この帆船を何というか。次から1つ選べ。

- ① ダウ船 ② ガレオン船 ③ ジャンク船 ④ アウトリガー船

C 古くから人々は、領土獲得や貿易、宗教上の理由などさまざまな目的から、馬や帆船を使って世界を旅したが、19世紀に交通革命がおこると世界旅行のあり方が一変した。

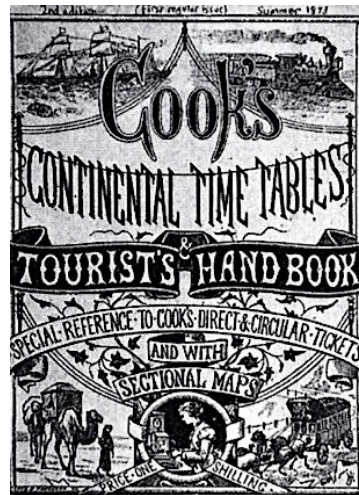
イギリスで開発された蒸気機関が鉄道や船の動力に応用されると、1869年に（ア）と（イ）が開通し、大航海時代には数年かかった世界一周の旅が、わずか数か月に短縮された。さらに1904年に（ウ）が開通すると、欧州航路で50日前後かかった日本からロンドンへの到達日数は、最短で16日間になった。そのようななか、(h)イギリスでは一般向けに世界一周旅行の手配が始まった。

問8 文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせを、次から1つ選べ。

- ① ア — スエズ運河 イ — パナマ運河 ウ — シベリア鉄道
- ② ア — スエズ運河 イ — アメリカ大陸横断鉄道 ウ — シベリア鉄道
- ③ ア — パナマ運河 イ — シベリア鉄道 ウ — アメリカ大陸横断鉄道
- ④ ア — パナマ運河 イ — スエズ運河 ウ — アメリカ大陸横断鉄道

問9 下線部(h)について、19世紀末に世界ではじめて一般向け世界旅行を販売したのは、トマス=クック社で、右下の写真は同社が発行した時刻表である。トマス=クック社は1851年にロンドンで行われた第1回万国博覧会向けのツアーを企画したことでも知られている。歴代の万博について説明した文のうち、誤りを含むものを1つ選べ。

- ① 第1回ロンドン万博では、巨大なガラスと鉄でできた「水晶宮（クリスタル・パレス）」が話題をよんだ。
- ② 1867年のパリ万博と並行してパリの改造事業が進められ、近代国家の首都としてのパリの骨格がつくられていった。
- ③ 1873年のウィーン万博は、日本政府がはじめて公式に参加・出品した博覧会であった。
- ④ 1964年の大阪万博は日本で初めて開催された万博で、同年、東海道新幹線が開通した。



「クックのヨーロッパ大陸時刻表」創刊号の表紙
(本城靖久『トーマス・クックの旅 近代ツーリズムの誕生』, 講談社現代新書, 1996年, p.6)

出典・参考文献

1

<参考文献>

周藤芳幸「都市アレクサンドリアと初期ヘレニズム時代の東地中海世界」（『名古屋大学文学部研究論集』史学 58, 名古屋大学文学部, 2012 年）

<図版の出典>

A : アレクサンドロスのモザイク (イタリア・ナポリ国立考古学博物館蔵)

<https://www.asahi.com/articles/ASP177GKDP17UHBI030.html> (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

B : Sieglin, W. and Wagner & Debes. "Alexandria from 100 B.C. to 100 A.D." (Rice University, 1908) <https://scholarship.rice.edu/handle/1911/9343> (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

サモトラケのニケ (フランス・ルーヴル美術館蔵)

http://musee.louvre.fr/oal/victoiredesamothraceJP/victoiredesamothrace_acc_ja_JP.html (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

ラオコーン (ヴァティカン美術館蔵)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A9%E3%82%AA%E3%82%B3%E3%83%BC%E3%83%B3%E5%83%8F#/media/ファイル:DSCF1951.png> (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

ミロのヴィーナス (フランス・ルーヴル美術館蔵)

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9F%E3%83%AD%E3%81%AE%E3%83%B4%E3%82%A3%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%82%B9> (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

菩薩立像 (フランス・ギメ東洋美術館蔵)

https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%95%E3%82%A1%E3%82%A4%E3%83%AB%BDohisattva_Gandhara_Guimet.jpg (最終閲覧日 2021 年 12 月 1 日)

2

<史料の出典>

ヨーロッパ中世史研究会編『西洋中世史料集』東京大学出版会, 2000 年より抜粋 (なお、出題にあたり一部の表記をあらためた。)

[史料 A] 皇帝ハインリヒ 5 世の文書, pp. 135-136.

[史料 B] グラナダの降伏協定, p. 314.

[史料 C] プロコピオス『ゴート戦記』, pp. 4-6.

3

<図版の出典>

問 4

① : ラファエロ「椅子のマドンナ」

『世界史のパビリオン』とうほう, 2021 年, p.121

② : ボッティチェリ「春」

『世界史のパビリオン』とうほう, 2021 年, p.123

- ③：ブリューゲル「農民の踊り」
『世界史のパピリオン』とうほう，2021年，p.125
- ④：デューラー「四使徒」
『世界史のパピリオン』とうほう，2021年，p.124

問9

『新詳 世界史B』帝国書院，2021年，p.166

<参考文献>

ソフィー・D・コウ/マイケル・D・コウ（樋口幸子訳）『チョコレートの歴史』河出出版，2017年
武田尚子『チョコレートの世界史 近代ヨーロッパが磨き上げた褐色の宝石』中公新書，2012年

4

<図版の出典>

問1

Declaration of Independence

<https://billofrightsinstitute.org/primary-sources/declaration-of-independence>（最終閲覧日 2021年7月12日）

問2

A：金が惜しいか 命が惜しいか

<https://editions.covecollective.org/content/silent-highwayman>（最終閲覧日 2021年12月10日）

B：ヴォルガの船曳き

<https://theculturetrip.com/europe/russia/articles/history-of-a-painting-berge-haule-rs-at-volga-by-ilya-repin/>（最終閲覧日 2021年7月12日）

C：落穂拾い

https://www.musee-orsay.fr/fr/collections/histoire-des-collections/peinture.html?zoom=1&tx_damzoom_pi1%5BshowUid%5D=2110&cHash=8ac69a292b（最終閲覧日 2021年7月12日）

D：石割り

<https://labalancoiredefragonard.wordpress.com/2016/02/10/les-casseurs-de-pierre-gustave-courbet/>（最終閲覧日 2021年7月12日）

問3

長谷川貴彦『産業革命』世界史リブレット116，山川出版社，2012年，55頁

Cリード文

ナショナルギャラリー

<https://www.nationalgallery.org.uk/paintings/international-womens-day-elisabeth-louise-vigee-le-brun>（最終閲覧日 2021年7月16日）

問 4

Marie Antoinette in a Chemise Dress

<https://www.metmuseum.org/art/collection/search/656930> (最終閲覧日 2021 年 7 月 16 日)

問 5

A : 球戯場の誓い

<https://www.carnavalet.paris.fr/collections/serment-du-jeu-de-paume-le-20-juin-1789> (最終閲覧日 2021 年 7 月 15 日)

B : サン=ベルナル峠をこえるナポレオン

木村靖二ほか『詳説世界史図録』山川出版社, 2014 年, 169 頁

C : ヴェルサイユ行進

木村靖二ほか『高校世界史 B』山川出版社, 2017 年, 166 頁

D : 1808 年 5 月 3 日

<https://www.museodelprado.es/en/the-collection/art-work/the-3rd-of-may-1808-in-madrid-or-the-executions/5e177409-2993-4240-97fb-847a02c6496c> (最終閲覧日 2021 年 7 月 15 日)

問 6

民衆を導く自由

木村靖二ほか『高校世界史 B』山川出版社, 2017 年, 162 頁

問 7

左 : THE MAN IN POSSESSION 右 : RIGHT LEG IN THE BOOT AT LAST

木村靖二ほか『詳説世界史図録』山川出版社, 2014 年, 169 頁

問 8

ソルフェリーノの啓示

<https://www.jrc.ac.jp/about/> (最終閲覧日 2021 年 7 月 17 日)

問 9

フランクフルト国民議会

木村靖二ほか『詳説世界史図録』山川出版社, 2014 年, 174 頁

問 10

Zwischen Berlin und Rom

https://unterrichten.zum.de/wiki/Datei:Kladderadatsch_1875_-_Zwischen_Berlin_und_Rom.png#/media/File:Kladderadatsch_1875_-_Zwischen_Berlin_und_Rom.png (最終閲覧日 2021 年 7 月 17 日)

6

<参考文献>

- 九里幾久雄編『世界史資料』上，東京法令出版，1979年
左近幸村編『近代東北アジアの誕生—跨境史への試み』北海道大学出版会，2008年
岸本美緒『明末清初中国と東アジア近世』岩波書店，2021年

7

<参考文献>

- 小笠原弘幸『オスマン帝国』中公新書，2018年

8

<図版の出典>

- A : <https://www.y-history.net/appendix/wh1402-015.html> (最終閲覧日 2022年1月11日)
B : <https://manareki.com/tyugokubunkatu> (最終閲覧日 2022年1月11日)
C : https://preview.aflo.com/5QFr9zqqRwCy/aflo_120958399.jpg (最終閲覧日 2022年1月11日)
D : <https://mikescrafton.com/2020/05/25/historical-amnesia-great-power-behaviour-and-criticism-of-china/> (最終閲覧日 2022年1月11日)

9

<資料の出典>

- 資料 i : ハミルトン=フィッシュ (渡辺惣樹訳) 『ルーズベルトの開戦責任 大統領が最も恐れた男の証言』草思社文庫，2019年，pp.42-43
資料 ii : ヘンリー=A=キッシンジャー (岡崎久彦監訳) 『外交』(上)，日本経済新聞社，2003年，p.514
資料 iii : ハーバート=フーバー (渡辺惣樹訳) 『裏切られた自由 フーバー大統領が語る第二次世界大戦の隠された歴史とその後遺症』(上)，草思社文庫，2017年，p.310
資料 iv : ハーバート=フーバー (渡辺惣樹訳) 『裏切られた自由 フーバー大統領が語る第二次世界大戦の隠された歴史とその後遺症』(上)，草思社文庫，2017年，p.617-618

表 i 作成資料 :

渡辺惣樹『誰が第二次世界大戦を起こしたのか フーバー大統領『裏切られた自由』を読み解く』草思社，2020年 p.206-207 を参考に作成

<参考文献>

- ハミルトン=フィッシュ (渡辺惣樹訳) 『ルーズベルトの開戦責任 大統領が最も恐れた男の証言』草思社文庫，2019年
ヘンリー=A=キッシンジャー (岡崎久彦監訳) 『外交』(上)，日本経済新聞社，2003年
ハーバート=フーバー (渡辺惣樹訳) 『裏切られた自由 フーバー大統領が語る第二次世界大戦の隠された歴史とその後遺症』(上)，草思社文庫，2017年
渡辺惣樹『誰が第二次世界大戦を起こしたのか フーバー大統領『裏切られた自由』を読み

解く』草思社，2020年

油井大三郎／古田元夫『世界の歴史 28 第二次世界大戦から米ソ対立へ』中央公論，1998年

藤原彰『昭和の歴史 第5巻 日中全面戦争』小学館，1982年

10

<参考文献>

『最新世界史図説 タペストリー 十九訂版』帝国書院，2021年

海老澤哲雄『マルコ・ポーロ『東方見聞録』を読み解く 世界史リブレット人 35』山川出版社，2015年

本城靖久『トーマス・クックの旅 近代ツーリズムの誕生』講談社現代新書，1996年

前田耕作『玄奘三蔵、シルクロードを行く』岩波新書，2010年

家島彦一『イブン・ジュバイルとイブン・バットゥータ イスラーム世界の交通と旅 世界史リブレット人 28』山川出版社，2013年